

# 愛媛大学・愛媛県中小企業家同友会景況調査（EDOR）報告

## 第 37 回（2012 年 4 - 6 月期）

2012 年 9 月 23 日

愛媛大学総合地域政策研究会・愛媛県中小企業家同友会共同実施  
問合先：曾我亘由（愛媛大学総合地域政策研究会）tel. 089-927-9238  
愛媛県中小企業家同友会 tel. 089-968-3112  
集計：白方伊代（愛媛大学法文学部総合政策学科 2 回生）  
文章：曾我亘由（愛媛大学法文学部総合政策学科准教授）

### 県内景気は厳しい環境の中でも回復の兆し、

### ただし先行きには不透明感

#### 【調査要領】

- (1) 調査期間 2012 年 7 月 1 日 ～ 2012 年 7 月 31 日
- (2) 対象企業 愛媛県中小企業家同友会会員企業
- (3) 調査方法 郵送による自計記入
- (4) 回答企業数 調査対象企業数 400 社、回答企業 132 社（回答率 33.0%）

#### 【経済概況】

#### 【EDOR 調査結果概要】

（売上高、採算、採算水準、業況）

今回の調査結果では、ほとんどの項目で改善傾向がみられた。売上高 DI は前期比、前年同期比とも前回より改善し、前期比で 7.7 から 14.1 と 6.4 ポイント増加、前年同期比で 9.0 から 14.1 と 5.1 ポイント増加した。採算（経常利益）DI については前期比については、前期比で - 2.1 から 2.2 と 4.3 ポイント増加、前年同期比では 0.7 から 0.0 とほぼ横ばいという結果であった。当期の採算水準は 30.1 ポイント前回よりも増加した。自社業況判断 DI については前期比では 2.1 から 9.6 と 7.5 ポイント、前年同期比では 0.7 から 12.5 と 11.8 ポイントの大幅な改善となった。ただし、次期見通しについては 6.0 ポイントと悪化と予測しているため注意が必要である。業界業況判断 DI については前期比で - 18.2 から - 23.0 と 4.8 ポイントの悪化、前年同期比では - 19.4 から - 26.7 と 7.3 ポイントの悪化となった。採算（経常利益）DI が好転、悪化した企業にその理由を尋ねたところ、好転した企業については売上数量・客数の増加を挙げる割合が高く、売上単価・客単価の上昇を挙げる割合は大きく減少した。その一方、採算が悪化した企業については、売上数量・客数量の減少

の割合はほぼ横ばいであったが、売上単価・客単価の減少を挙げる割合が上昇している。つまり、採算が好転した企業については単価よりも数量を伸ばしたことに起因しており、採算が悪化した企業については数量よりも単価の下落に起因していることがわかる。経営上の努力の自由記述にもみられるが、採算が好転した企業については、新規顧客の開拓、新規の顧客の獲得に重点をおいたといった記述がみられる。

以上の結果から、愛媛県内中小企業の景気は改善傾向にあると考えられる。しかしながら、自社業況判断 DI が改善する中、業界業況判断 DI は悪化しており、また、経営上の問題点として民間需要の停滞を挙げる企業が大幅に増加しており（後述）、先行きについては懸念する必要がある。

#### （経営上の問題点）

今期の経営上の問題点としては、前回調査と同様、民間需要の停滞、同業者相互の価格競争の激化を挙げる企業が多いが、今回は民間需要の停滞を挙げる企業の割合が大幅に増加しており、66.2%の企業が問題点として挙げている。民間需要の停滞を経営上の問題点として挙げる企業は昨年半ばから減少傾向にあったが、今回の調査では大幅に増加している。DI 値では改善傾向がみられている県内経済あるが、民間需要の停滞については注意が必要である。また、新規参入者の増加も経営上の問題点として挙がっており、更なる価格競争の激化の可能性がある。

経営上の力点については、新規受注の確保、付加価値の増大、社員教育を挙げる企業が多く、この点はこれまでの調査結果と同様である。

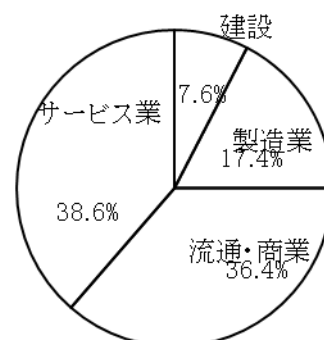
## 回答企業の基本情報

業種(4業種分類)

	社	%
建設業	10	7.6
製造業	23	17.4
流通・商業	48	36.4
サービス業	51	38.6
合計	132	100.0

※1社…農業

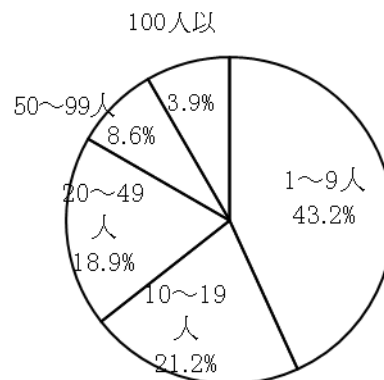
業種



常勤役員を含む正規従業員数

	社	%
1～9人	57	43.2
10～19人	28	21.2
20～49人	25	18.9
50～99人	11	8.3
100人以上	11	8.3
合計	132	100.0

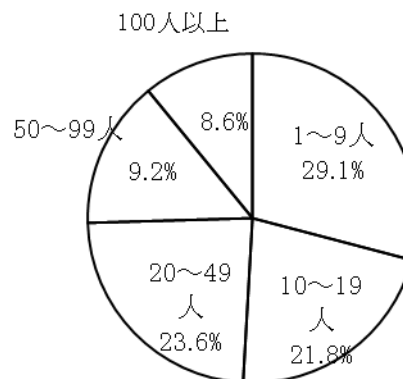
正規従業員数



臨時・パート・アルバイトを含む総従業員数

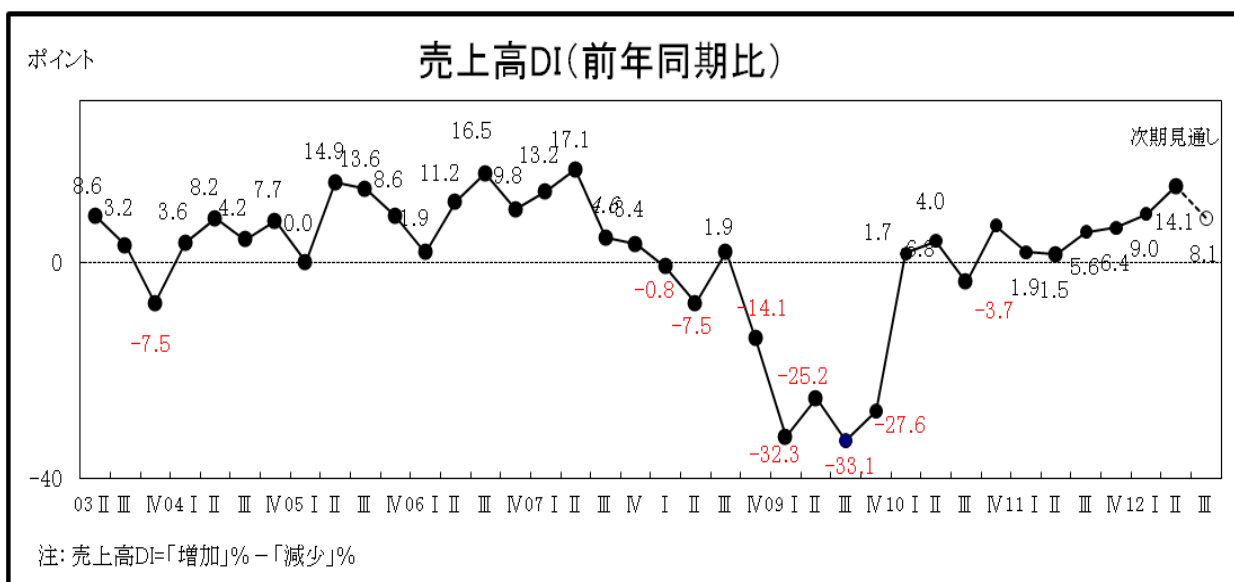
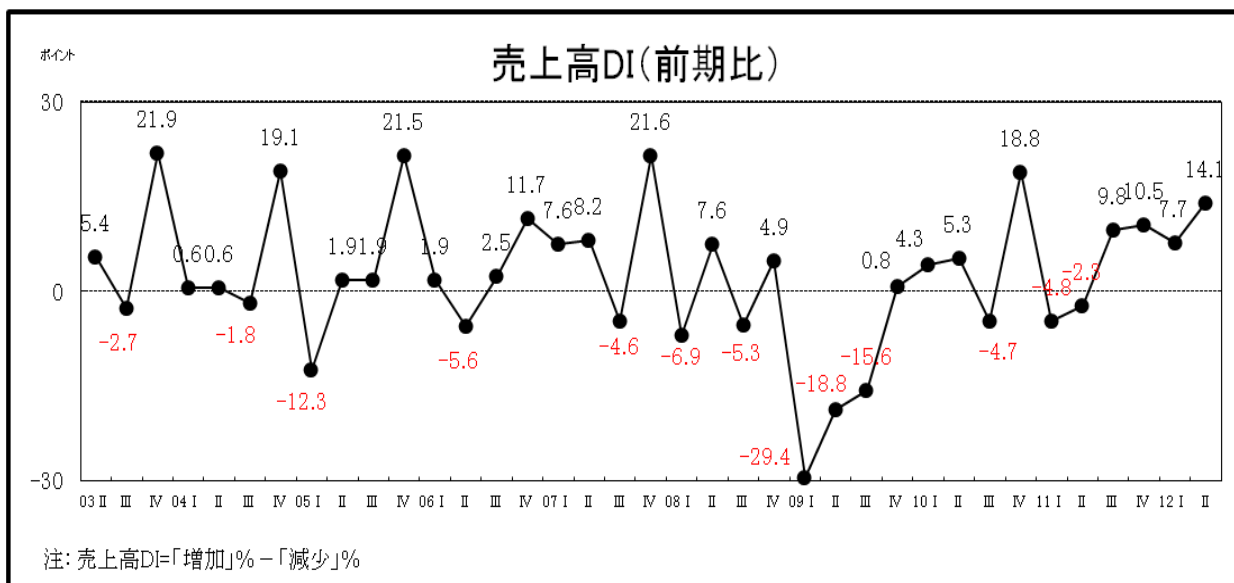
	社	%
1～9人	32	29.1
10～19人	24	21.8
20～49人	26	23.6
50～99人	16	14.5
100人以上	12	10.9
合計	110	100.0

総従業員数



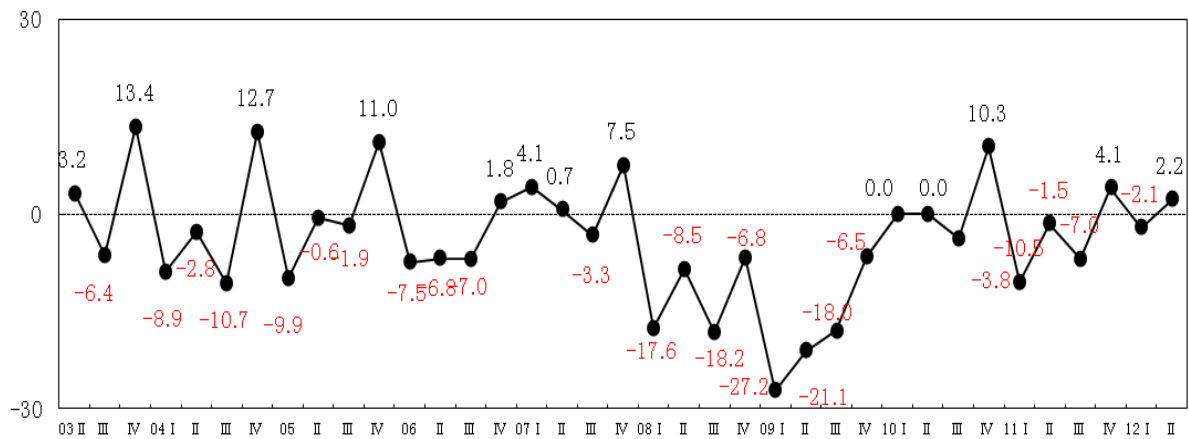
従業員数の平均と中央値

	人
常勤役員を含む正規従業員数	
平均	31.3
中央値	12
臨時・パート・アルバイトを含む総従業員数	
平均	52.5
中央値	17



ポイント

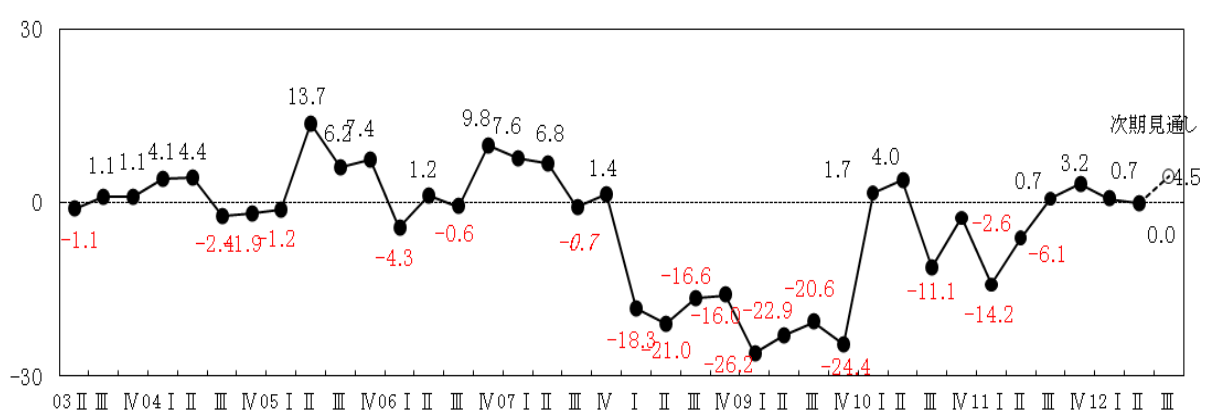
### 採算(経常利益)DI(前期比)



注: 採算DI=「好転」%-「悪化」%

ポイント

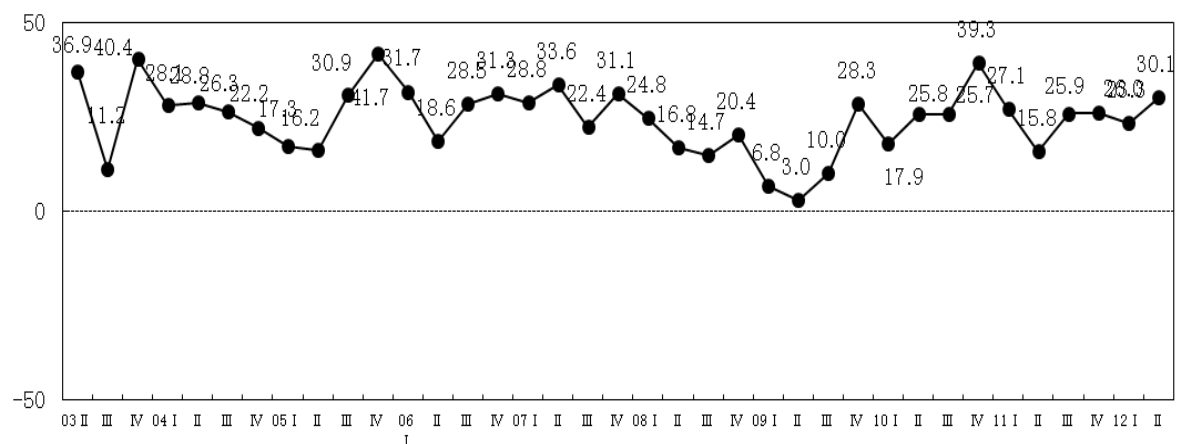
### 採算(経常利益)DI(前年同期比)



注: 採算DI=「好転」%-「悪化」%

ポイント

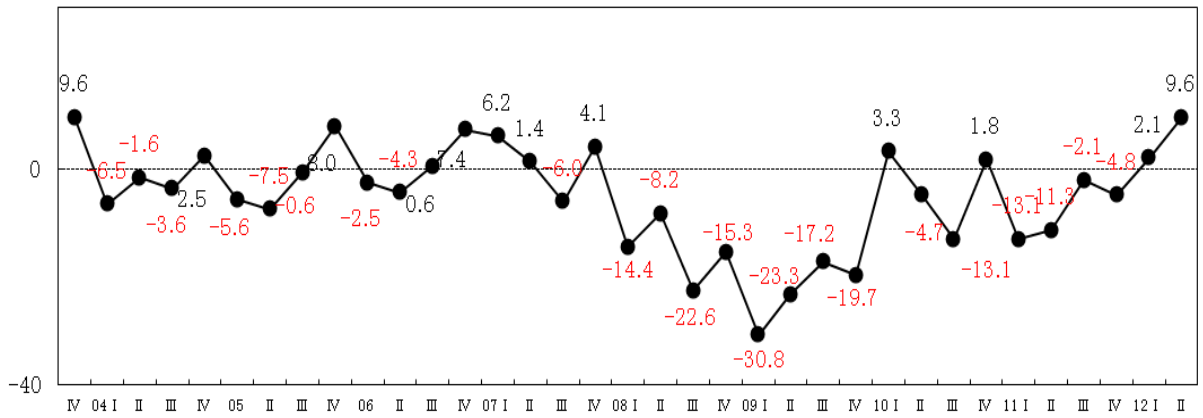
### 採算水準DI(当期)



注: 採算水準DI=「黒字」「やや黒字」%-「やや赤字」「赤字」%

ポイント

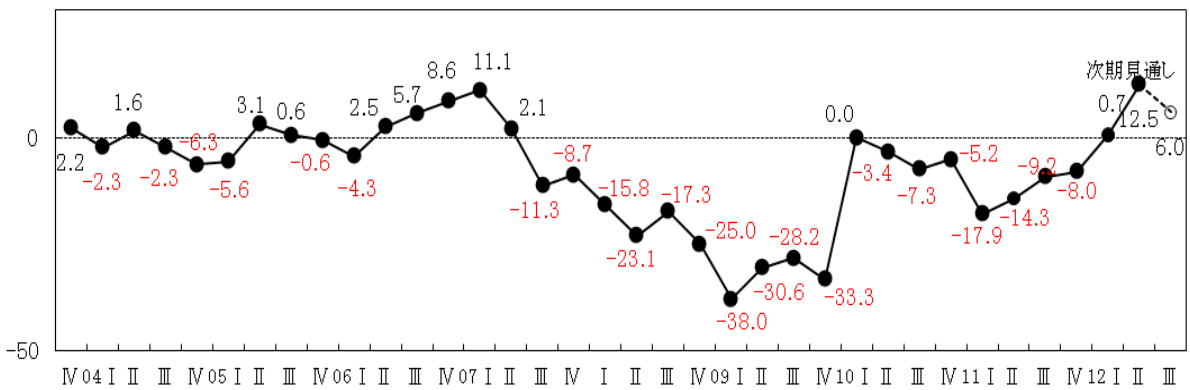
### 自社業況判断DI(前期比)



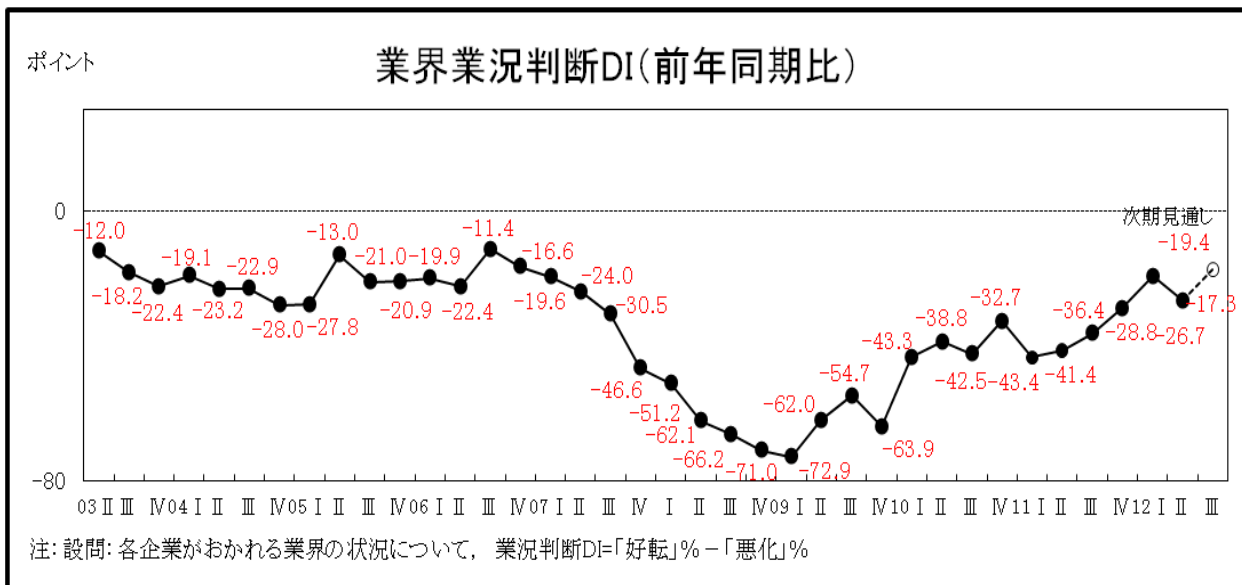
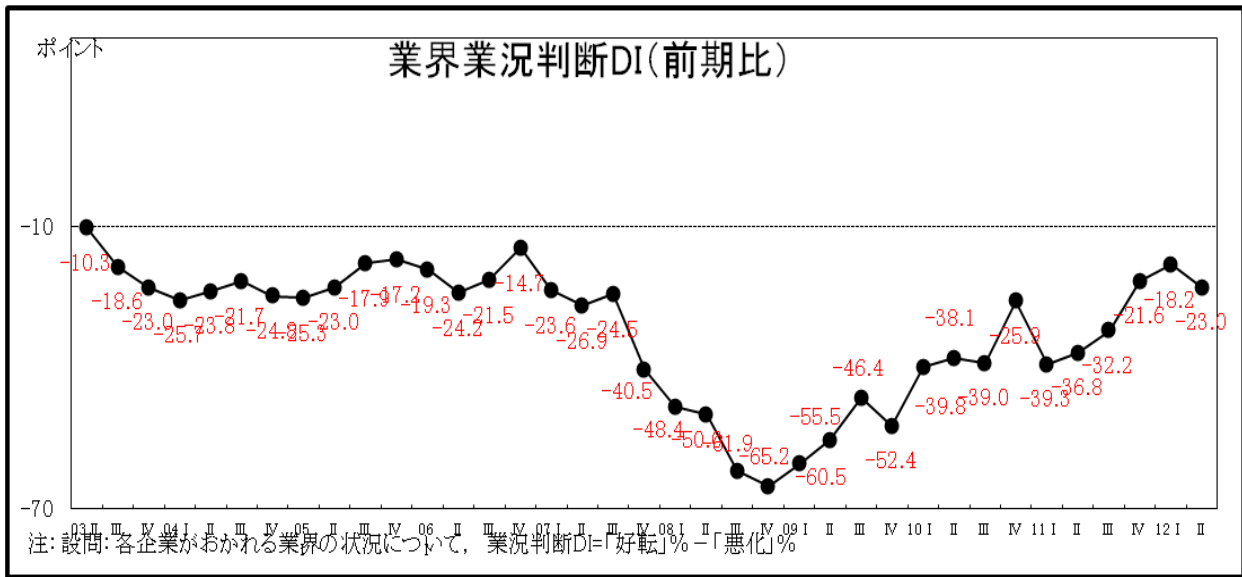
注: 設問: 各企業の経営状況全般について、業況判断DI=「好転」% - 「悪化」%

ポイント

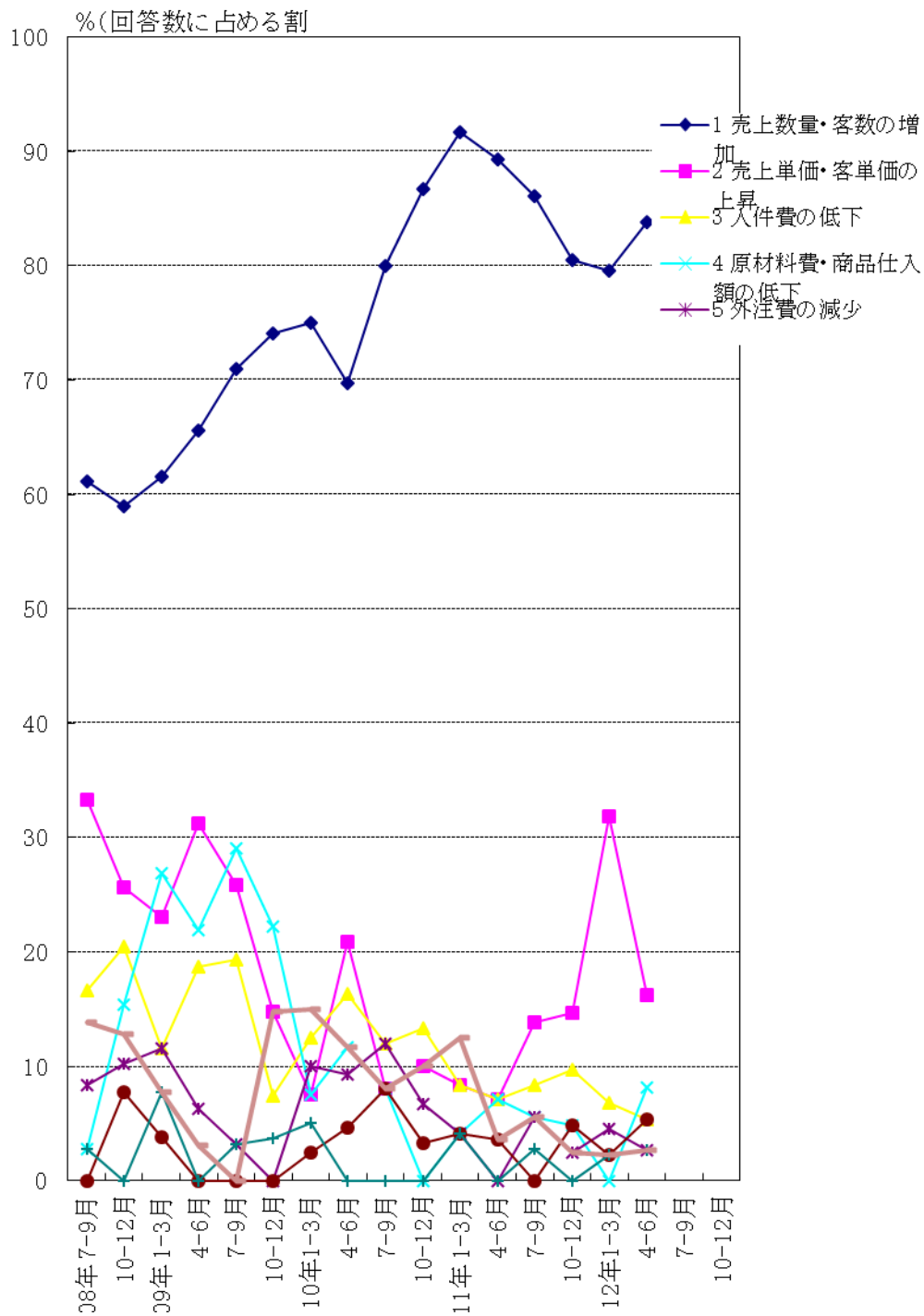
### 自社業況判断DI(前年同期比)



注: 設問: 各企業の経営状況全般について、業況判断DI=「好転」% - 「悪化」%

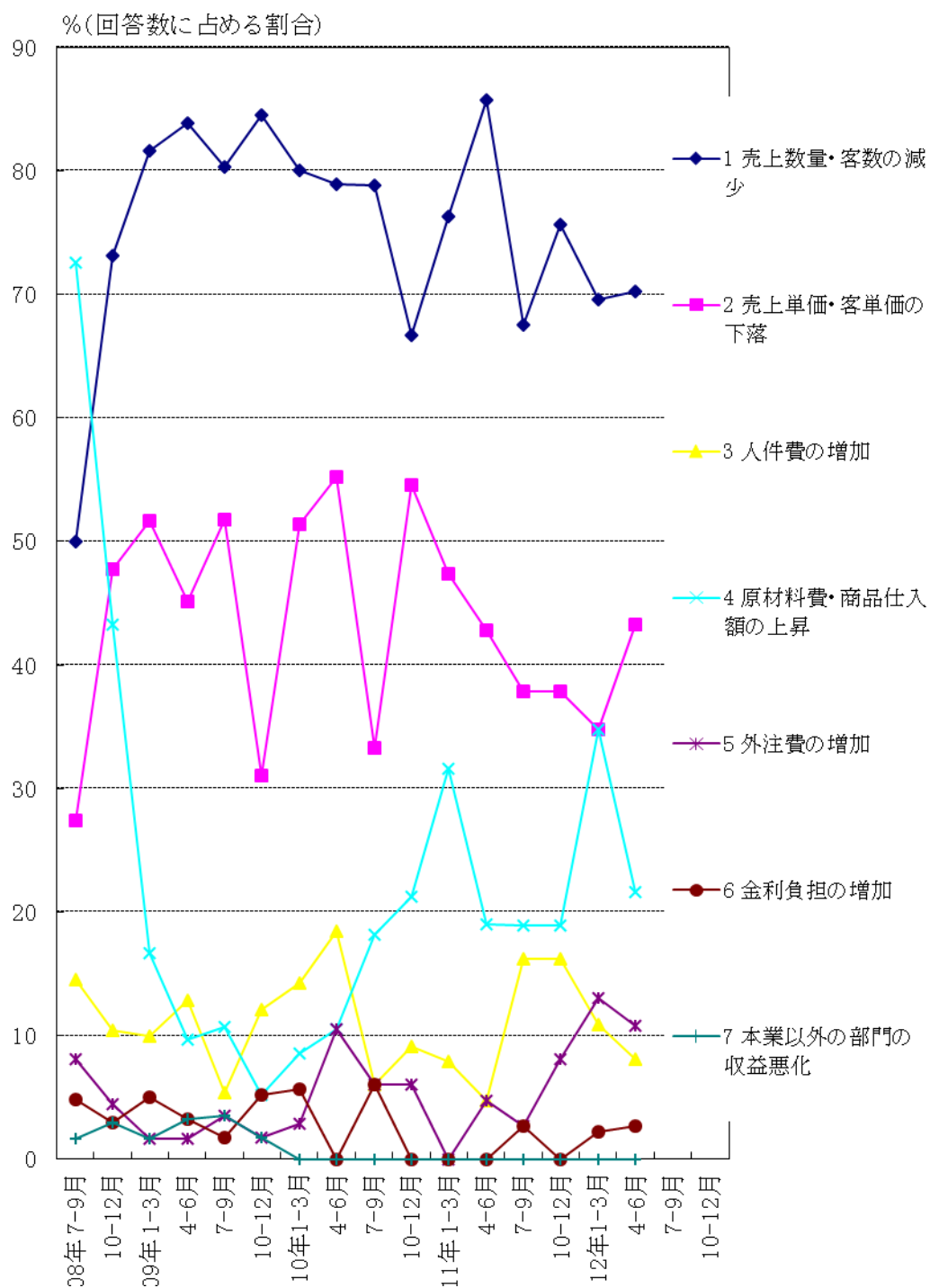


## 採算好転の理由の推移(2008年7-9月～2011年10-12月)



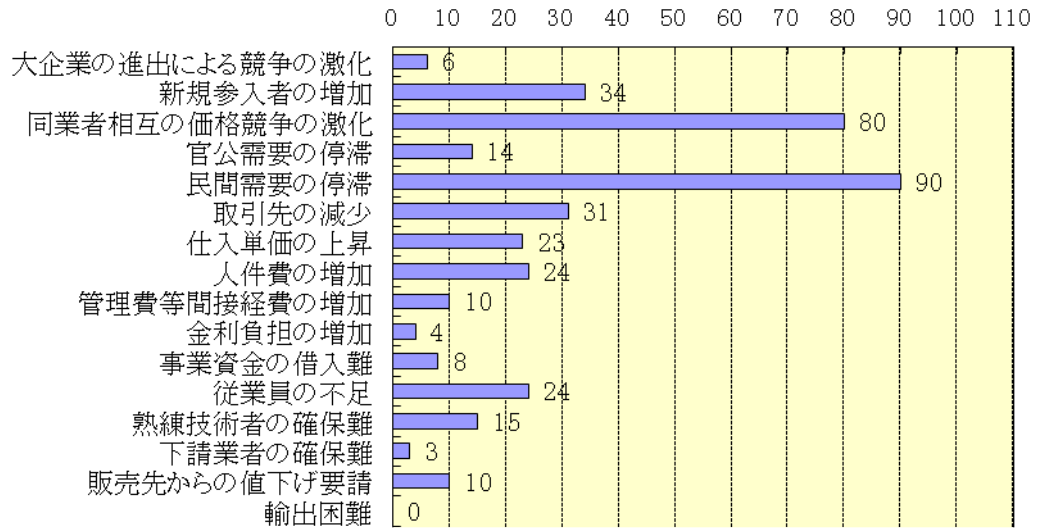


## 採算悪化の理由の推移(2008年7-9月～2011年10-12月)



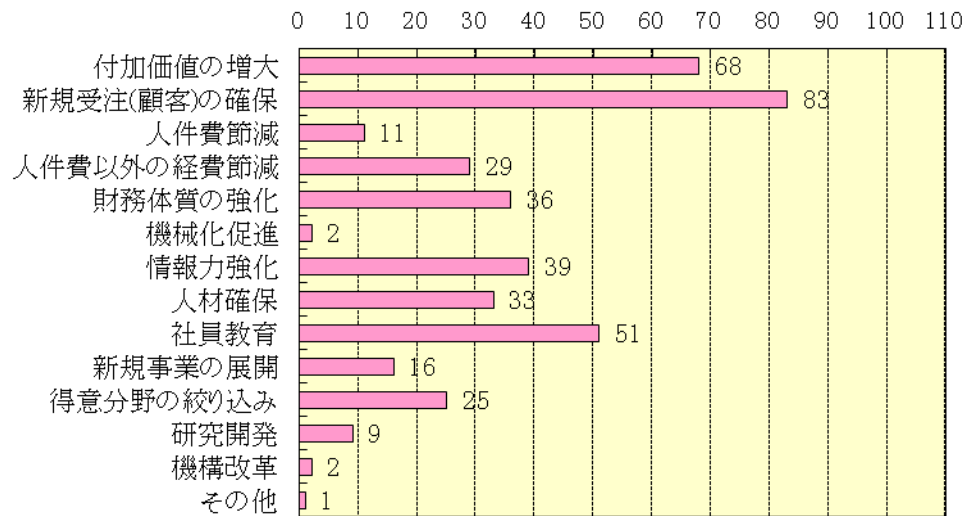
### 経営上の問題点(選択肢から上位3つ選択)

回答数

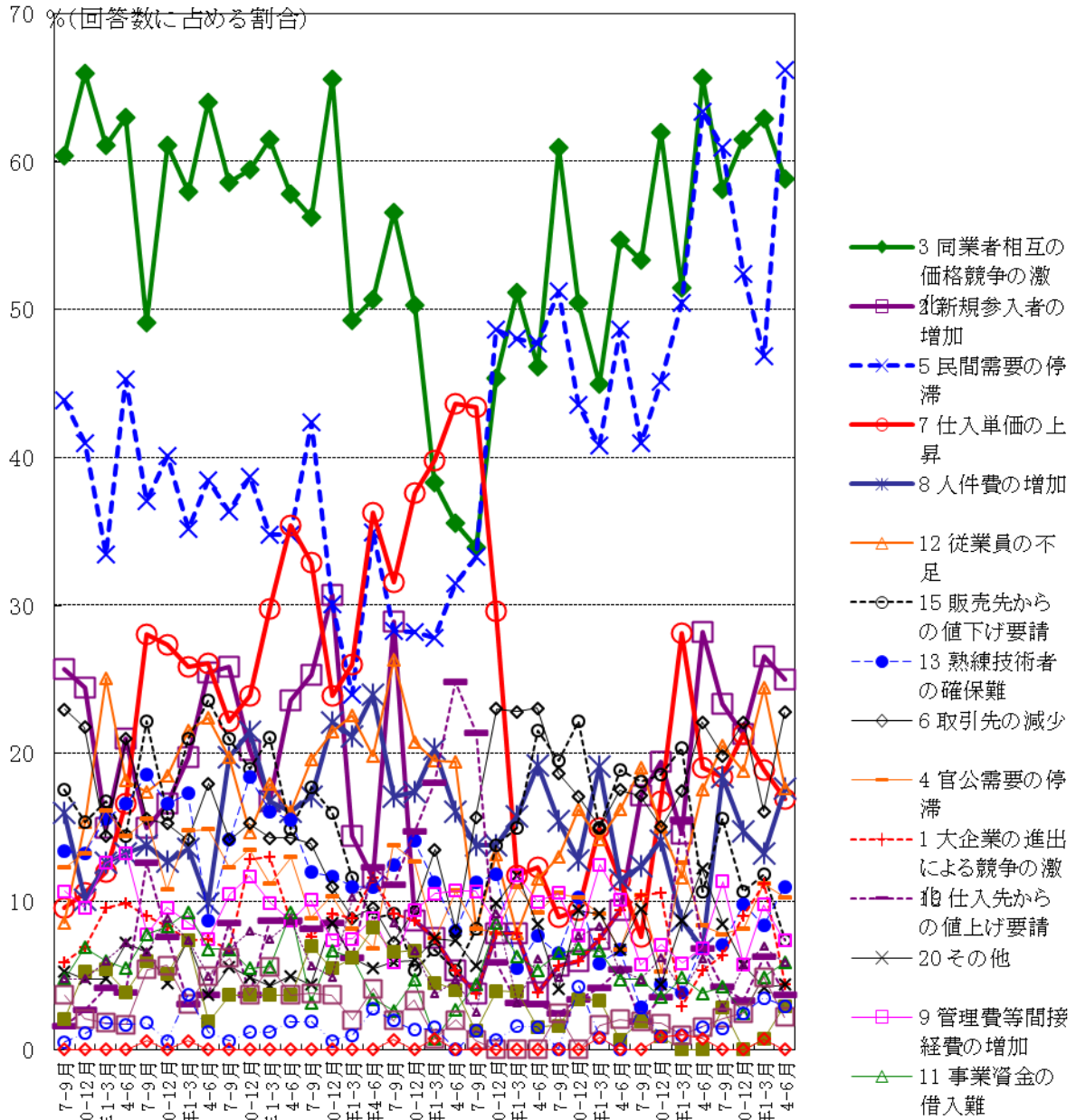


### 経営上の力点(選択肢から上位3つ選択)

回答数



# 今期における「経営上の問題点」の推移(2003年4-6月～2011)



## 次期に考える「経営上の力点」の推移(2003年4-6月～2011)

